

下京のひびき

市民しんぶん
下京区版

1/15

推計人口 70,179人
男 32,755人
女 37,424人
世帯数 31,329世帯
(平成8年12月1日現在)

元気な京都



活力ある下京

新春にあたって

下京区長 中村 誠伺

新年明けましておめでとうございます。区民の皆様方にはご壮健にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、榊本頼兼市長のもと「元気な京都を目指す区政の推進」にあたり、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨夏来、病原性大腸菌O-157による被害が全国に及び、下京区におきましても夏祭の中止やバザー品目の制限のやむなきに至り、地域社会の活性化を進める立場からは残念な年でありました。

さて、今年は8月に全国高校総体、12月にはCOP3（気候変動枠組条約第3回締結国会議）が京都市で開催されます。いずれも成功させると共に、これを機会にスポーツと健康、地球環境問題について考えてみましょう。

また、本年も高齢化社会を見据え福祉の充実、産業の活性化、生涯学習やスポーツの振興、防災のまちづくり等、課題解決に向けて福祉事務所職員、保健所職員を含め、区役所職員一同全力を傾注する所存でございますので、本年も区政へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

(写真提供・前川貞彦さん＝大内学区)

再確認！わが家の避難場所

各学区の避難場所

- ①＝郁 文致
②＝格 徳園
③＝成 智松
④＝豊 風泉
⑤＝開 隣
⑥＝永 柳
⑦＝淳 徳松
⑧＝醒 隣
⑨＝修 柳
⑩＝有 徳
⑪＝植 松
⑫＝尚 徳
⑬＝稚 松
⑭＝菊 浜
⑮＝安 寧
⑯＝皆 山
⑰＝梅 逕
⑱＝大 内
⑲＝光 徳
⑳＝七 条
㉑＝七条第三
㉒＝崇 仁
㉓＝西 大



広域避難場所のシンボルマーク



阪神・淡路大震災が起きてから2年がたとうとしています。この震災により6千人を超える尊い命が奪われ、いまだに不自由な生活を送っている人たちがたくさんおられます。

下京区では、震災後、大規模地震を想定した総合防災訓練を「梅小路公園」で実施するなど、区内の防災関係機関や自主防災会が一致協力して、防災対策に取り組んでいます。

いまあらためて震災の教訓を思い起こし、防災について再確認をしましょう。

地震が起これたら

- まず身の安全の確保を(テーブルや机などの下に身をよせる)
- すぐに使用中の火を消す(火元付近には燃えやすいものを置かない、小さな地震でも火を消す習慣を)
- 火が出たらすばやく消火
- 戸を開けて出口を確保(非常の出口と脱出方法を覚えておく)
- 外へ出る時は、瓦やガラスの破片など落下物に注意(救急箱・懐中電灯・ヘルメット・スリッパなどを備えておく)
- 避難は徒歩で、持ち物は最小限に(非常食・水など非常持出品は1カ所にまとめておく)
- 建物のそばや狭い路地、塀ぎわには近寄らない
- 正しい情報をつかみ、デマに惑わされない
- 携帯ラジオを備えておく
- 隣近所、お互いに声をかけあい、助け合いましょう

避難場所の確認を

地震が起これ、近所で火災が発生し燃え広がるなど避難する必要があると判断したら、火の始末や電気、ガスの安全を確認してから隣近所の人達と一緒に、お互いに助け合い、学校などの安全な場所(一時避難場所)に避難しましょう。

◆一時避難場所とは
災害が起これたときに、一時的に避難して状況をみる場所、自主防災組織や町内会などが自主的に選定しています。

◆広域避難場所とは
地震に伴う大震災による二次災害の危険から、地域の皆さんの生命の安全を守る場所、1軒以上の安全空間が確保できる場所の中から、京都市が指定しています。

広域避難場所

- 梅小路公園(下京区)
円山公園(東山区)
西京極総合運動公園(右京区)
殿田公園(南区)

※避難が必要と判断したらいちばん近い広域避難場所へ避難してください。

すべての人が幸せに 生きられる社会を！ 丘乃れいさんが講演



下京区は、12月3日、の丘乃れいさんに講演を山一ホールで人権を考えよう！を開催しました。今回は、シナリオ作家の丘乃れいさんが、生まれ育ちの地である下京区で、人権をテーマに講演を行いました。

講演内容は、生まれ育ちの地である下京区で、人権をテーマに講演を行いました。講演内容は、生まれ育ちの地である下京区で、人権をテーマに講演を行いました。

講演をする丘乃れいさん
講演内容は、生まれ育ちの地である下京区で、人権をテーマに講演を行いました。講演内容は、生まれ育ちの地である下京区で、人権をテーマに講演を行いました。

季節のたより 1月

＝ハボタン＝

街角でみかける様になるとお正月を感じさせるハボタン。このハボタンの栽培は、江戸時代中期から始まり、19世紀になって普及してきた。植物学的にはキャベツと同じ種として扱われている。原産は、欧州だが、日本で観賞用に改良され、いくつかの品種がある。丸葉や、ちりめん葉があり、白、桃、紅、紫などの色がある。



写真提供 深見昭子さん(有隣学区)

区内の催し

1 / 15 ~ 2 / 14

日 時	催 し 名 (場 所)	主 催
2 / 2 (日) 8 : 50 ~	七条第三区民卓球大会 (七条第三小学校)	七条第三体育振興会
2 / 8 (土) 9 : 00 ~	西大路やきいも大会 (西大路小学校)	西大路自治連合会

*12月上旬現在、編集部で把握している催し。詳しくは主催者へ。



七条第三小2年 前田恵里さん

人権啓発ポスター展

最優秀作品

小・中学生による



成徳中2年 吉岡亜希子さん

区民ギャラリー写真募集

下京区ふれあい事業実行委員会では、写真を趣味とされている区民の皆さんの日頃の成果を発表していただく場として、下京区民ギャラリーに展示する写真を募集します。お手持ちのスナップ写真から秘蔵写真まで内容は問いませんのでどしどしご応募ください。

応募資格 下京区民及び通学通学の方。

応募規格等 サイズは四ツ切 (25.4cm × 30.5cm) でモノクロ・カラーは問いません。ワイド四ツ切はご遠慮ください。テーマは自由です。

応募方法等 写真の裏に「住所・氏名・電話番号・作品のタイトル」を明記の上、区役所地域振興室まで直接持参ください。応募点数は1人2点まで、出品は無料です。

応募期間 1月20日(月)~2月18日(火)

その他 優秀作品には賞品を進呈。

主 催 区ふれあい事業実行委員会

問 合 せ 区役所地域振興室



昨年の区民ギャラリー

「下京区民ギャラリー」は次のとおり開催します。

展示期間 3月3日(月)~14日(金)

展示場所 下京区役所1Fロビー

ます。

昨年は14チームが参加し、熱戦の末、七条第三チームが栄冠を勝ち取りました。

多くの皆様のご参加・応援をお願いします。



昨年の区民卓球大会

区民卓球大会を開催

日 時 2月16日(日) 午前9時~

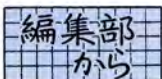
場 所 洛央小学校 体育館

主 催 下京区体育振興会連合会

問 合 せ 各学区体育振興会または、区役所地域振興室まで

恒例の下京区民卓球大会が開催されます。

試合は、男女混合で編成した学区代表チームによるトーナメントで行われ



編集部では「下京のひびき」で取り上げてほしいことなど、皆さんの声を募集しています。

送付先 区役所地域振興室 下京のひびき 編集部(〒600 下京区西洞院通塩小路)上る)

学区紹介

淳 風

伝統文化で町おこし

第13回目は淳風学区です。自治連合会の伊藤義浩会長にお話を伺いました。

◇学区の地理と沿革

淳風学区の区域は、おおよそ北は松原通、南は北小路通まで、大宮通を中心とする南北に細長い地域と島原6カ町からなっています。

大宮七条近辺は、古くから京都七口の一つ丹波口として、京都から丹波に至る交通の要衝でした。

明治2年(1869)の町組改正により、大宮通沿いの13カ町が下大組二十二番組に、島原6カ町が下大組三十二番組に編成され、同5年(1872)に合併して下京第十六区となりました。その後同15年(1882)に中堂寺村から藪之内町が、八条村から裏片町と薬園町が編入され現在の学区域となりました。

小学校は、明治2年に中堂寺町に開校後、同6年に現在地に移転し、同8年に校名を平安京の坊名から淳風小学校と改称しました。

なお、島原6カ町は梅小路小学校の

通学区となっています。

◇学区自治連合会の活動について

体育祭と並んで、自治連合会主催の二大行事の一つに、毎年9月に行われている住吉神社の例祭を学区の祭として実施しています。

祭の日には、島原商店街に夜店が出てにぎやかに行われています。神社には、明治時代に作られた重さ2トにもなる御輿があり、学区内を練り歩きます。平成6年の平安建都1200記念の京都まつり都大路パレードにも参加して市民の皆さんにも、その雄姿を見ていただきました。

また、従来裏方に徹してきた女性の方にも表舞台に立つてもらおうと一昨年からギャル御輿を作って宵宮に巡行をしてみたところ非常に好評でした。

御輿の巡行を核に祭を盛り上げることで、住民の親睦と町の活性化につながるよう願っています。

◇学区の将来について

島原には、国の重要文化財の角屋や市指定文化財の輪違屋・島原大門など全国に誇れる貴重な文化財があります。

学区の伝統文化を後世に残すために、自治連合会でできることを、島原を中心にして学区民みんなで考え、将来的には、長らく途絶えている島原大門のしめ縄かざりの復活や太夫道中の実現を目指していきたいと考えています。

各種団体紹介

自主防災会

みんなの力で被害を最小限に

自主防災組織は、非常時に隣近所で助け合って被害をおさえるための自主的な防災組織です。下京区内では昭和57年2月にまず西大路学区で結成、平成元年には全学区に結成されました。

現在、各23学区に自主防災会が、その下に町内会等によって579の自主防災部が組織され、防災訓練・研修会・消火訓練・応急手当訓練等様々な活動をしています。

今回はその中でも、有隣学区と稚松学区の自主防災会会長にお話を伺いました。

「阪神・淡路大震災によって、自然災害のおそろしさが身近に感じるようになりました。万一の災害時には早い段階での救助・消火活動を、住民自らが行うことが必要です。

有隣学区の今年の防災訓練では、倒壊家屋の模型で救出・応急訓練を行いました。学区内の被害を最小限に抑えることが自主防災会の活動目的です。住民の皆さんには、『地震には自分自身を守る自信をつけましょう』と日頃

の備えと訓練の必要性を呼びかけています。」「(有隣学区・中村昌久会長)

「稚松学区自主防災会では、各種団体役員に本部役員として入っていただき一致協力して活動しています。

また、災害時の各自主防災部(町内会)単位の行動マニュアルを消防団と共同で作成して、部長に配布する予定



昨年の下京区総合防災訓練で活躍する防災会の会員ら

です。これは、町内から一時避難場所へ、そして広域避難場所への避難経路、消火器の場所、独居老人等の把握や応急手当の方法、防災資器材の保管場所や備品一覧をリストアップしたものです。

今後も防災用品の充実を図り、災害時の組織体制作りを進め、万一の場合は、被害をできるだけ少なくしていきたいと考えています。」「(稚松学区・川尻憲次会長)